

刈払機用 ナイロンコードカッタ (M8) 取扱説明書

安全にご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書および刈払機の取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

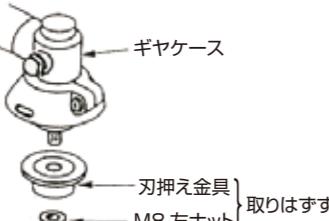
工機ホールディングス(株)

810
C99511801

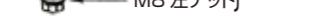
取付け方法

CG24E 形の場合

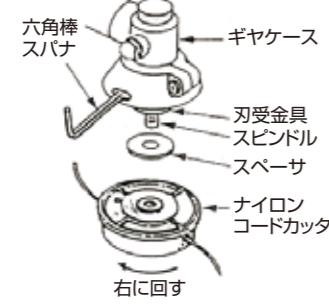
1 8枚刃などの鉄製の刈刃を取りはずします。



2 刃押え金具、M8 左ナットは取りはずし、紛失しないように保管してください。



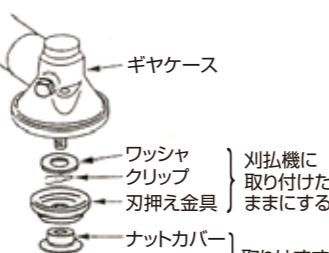
3 ギヤケースの穴に六角棒スパナをさし込み、刃受金具を回して回り止め位置をさぐり、その位置にしておきます。



次にナイロンコードカッタに同梱のスペーサをスピンドルにさし入れ、ナイロンコードカッタを両手で持ち、強めにスピンドルにねじ込みます。

CG23E2 形,CG26E2 形の場合

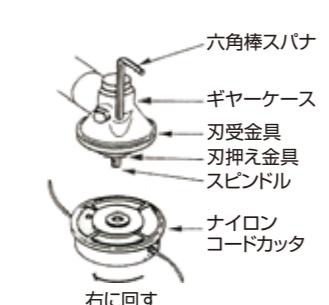
1 8枚刃などの鉄製の刈刃を取りはずします。



2 ワッシャ、クリップ、刃押え金具は取付けて使用します。ナットカバー、M8左ナットは取りはずし、紛失しないように保管してください。



3 ギヤケースの穴に六角棒スパナをさし込み、刃受金具を回して回り止め位置をさぐり、その位置にしておきます。



次にナイロンコードカッタを両手で持ち、強めにスピンドルにねじ込みます。

*ナイロンコードカッタに同梱のスペーサは CG24E 形用です。 CG23E2 形、CG26E2 形には使用しません。

警告

- このナイロンコードカッタは次の当社刈払機に取り付けて使用する草刈り用のカッタです。 CG23E2,CG26E2,CG24E この他の刈払機に使用したり、草刈り以外の用途に使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- 使用する刈払機の取扱説明書をよくお読みください。
- 作業中は、保護メガネ・安全靴その他の保護具を着用してください。保護具を着用しないで作業すると、飛散物が目や身体に当たって、けがをするなど事故の原因になります。
- 飛散防護カバーを取付けて使用してください。CG23E2 形または CG26E2 形刈払機に使用する場合は、コード No.678688 「防護カバー (SC)」を、CG24E 形刈払機に使用する場合は、コード No.677584 「防護カバー (SC)」をお買い求めのうえ取り付けてください。
- ナイロンコードカッタや防護カバーを取付ける場合、コードの長さを調整する場合、または点検などを行う場合は刈払機のエンジンを止めてください。

ご使用前に

△警告：エンジンを始動する前に行ってください。

1 ナイロンコードの引き出し

ナイロンコードカッタの底面を地面に軽く打ちつけます。コードの両端を引っ張るとコードが出ます。1回の打ちつけでコードが約 2.5cm 出ます。

2 ナイロンコードの引出し長さ

使用刈払機	引出し長さ
CG23E2	9 ~ 14cm
CG24E	11 ~ 16cm
CG26E2	12 ~ 17cm

3 ナイロンコードが長く出過ぎたとき

外側のケースをもち、上面のリールを左に回して適正長さに巻き戻します。

使いかた

△警告：作業中は必ず保護メガネをご使用ください。

1 エンジンの回転をやや高めにします。

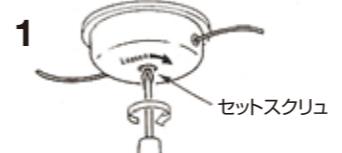
刈払機を右に振るときに刈り込み、また、ナイロンコードの先端で刈るよう心がけると能率よく刈れます。

2 ナイロンコードを引き出すときは

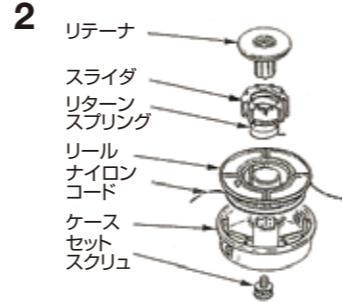
- エンジンの回転を低速（アイドリング）にします。
- ナイロンコードカッタの底面中央部を地面に軽く打ちつけます。
- エンジンの回転を上げると、コードが出てきます。

コードが出ないときはエンジンを中速回転にして1~2回強めに打ちつけます。
コードの長さは適正長さを超えないように注意してください。

ナイロンコードの交換方法



底面のセットスクリュを矢印の方向に回してはずします。
(10円硬貨も使えます)

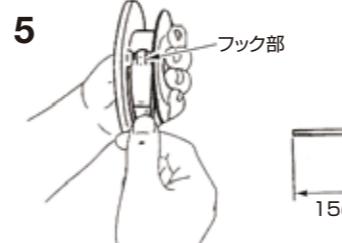


セットスクリュをはずすと、左図のように分解できます。
短くなつた古いナイロンコードをリールからはずします。

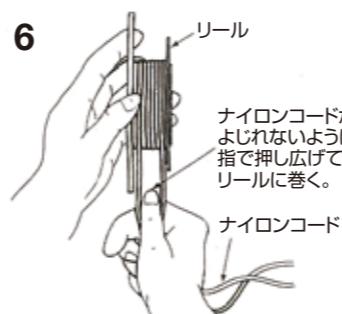
3 長さ 100m の新しいナイロンコードをお持ちのときは、6m に切断します。



新しいナイロンコードの両端を 15cm 位ずらした状態で、中央部を折り曲げます。



中央部の折り曲げたところをリールのフック部に引っ掛けます。



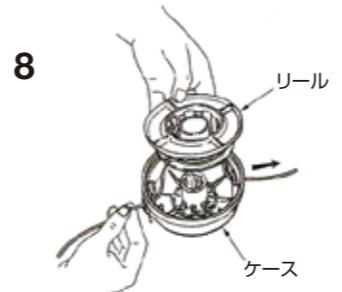
リールにナイロンコードをよじれないように同一方向に巻いていきます。



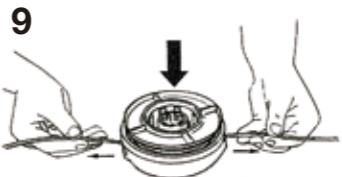
よじれているとナイロンコードが出なくなります。



巻き終えたナイロンコードの先端を 15~20cm 位残し、リールの切り込みにそれぞれコードをはさみ込みます。



ナイロンコードの両端をケースの穴にそれぞれ通します。



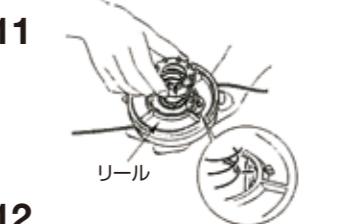
リールの切込み部とケースの穴の位置を合わせて、リールをケースの軸に挿入します。
リールを軽く抑えながらコードの先を引っ張るとリールが完全に納まります。



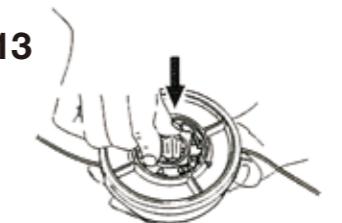
リターンスプリングの引掛部をスライダの切欠き溝に内側から入れながら、左図のようにしてセットします。



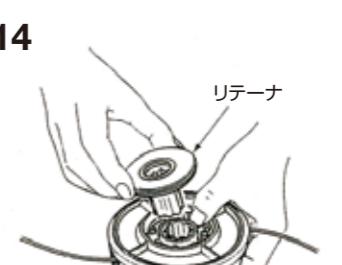
リターンスプリングの下側の引掛部を、リールの△印のついている溝に浅く入れます。



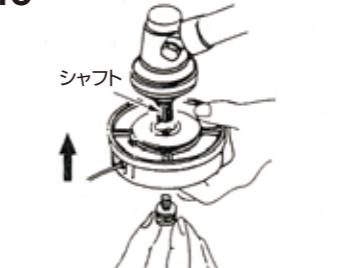
スライダをリールから浮かせたまま、スライダの上部に引掛けたリターンスプリングの先端も同じ△印の溝の位置まで（約 30°）回します。



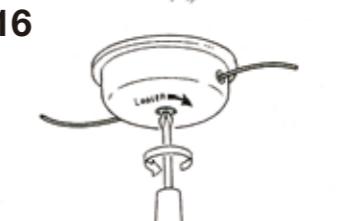
その位置でスライダを押し込みます。押し込み後、スライダが上下に自由に動くことを確認します。



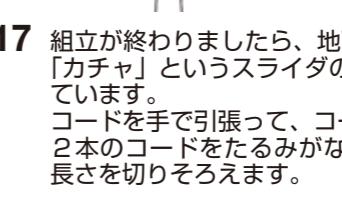
ケース中心部にリテーナを挿入します。



本体側についているシャフト部に取り付けます。



ケース底部にセットスクリュをさし込み、ケースの矢印と反対方向にしっかりと締め付けます。



組立が終りましたら、地面に軽く打ちつけみてください。
「カチャ」というスライダの作動音がしたらコードは送られています。
コードを手で引張って、コードが出ることを確認します。
2本のコードをたるみがないように引張り、コード引出し長さを切りそろえます。